



自分の未来をみつめて 高富中キャリアナビ2021

10月29日、高富中学校で職業講話
キャリアナビ2021が行われま
した。

この講話は、同校応援団本部と
PTAの協力のもと毎年行われて
います。講話は、市役所の若手職員
や地域のさまざまな職業の人を講師
に招き、講話を通して生徒自身が自
分の生き方を考え、これからの進路
を選択できる力を身に付けることを
目的としています。

講話では、講師に対して積極的に
質問する生徒が多く見られ、活発な
意見交換が行われました。



第2回新商品・新サービス 合同記者発表会開催

新商品・新サービス合同記者発表

主催 山県市商工会



11月1日、市役所で山県市商工会
主催の第2回新商品・新サービス合
同記者発表会が行われました。

この発表会は、県の地域産業活性
化事業の一環として、参加企業が商
品の効果的なPR方法を学び、そ
の成果を生かして行われました。記
者発表を行った市内外の企業・団体
の計8社は、地域の特産品を生かし
た商品や、独自のアイデアを形にし
た商品を開発し、それぞれの商品に
込めた思いをマスクミヤや来場者に対
して熱く語り、会場は大いに盛り上
がりました。

高富中学校で

命を守る訓練開催

11月5日、高富中学校の全校生徒
が命を守る訓練を行いました。

今回の訓練は、学校応援団本部主
催で、日本赤十字社や市の防災担当
と連携して行われたものです。1年
生は災害用備蓄倉庫や災害用トイレ
を見学し、2年生は三角巾を使って
応急処置の方法を学びました。また、
3年生は体育館で傷病者の搬送や保
温の実習を行いました。

参加した生徒たちは、講話や実習
によって災害時の避難行動について
理解を深めました。



はじかみ林道で秋を満喫 ウォーキングイベント開催



11月13日、大桑地区榎野のはじか
み林道で、やまがた秋のウォーキン
グイベントを行いました。爽やかな
風が吹く秋空のもと、市内外から多
くの人が参加しました。

はじかみ林道は、美濃国守護土岐
氏の最後の居館とされる大桑城跡が
残る古城山の林道です。紅葉が始
まった山々が、林道を美しく彩っ
ていました。

参加者は「絶好のウォーキング日
和でうれしい。空気もおいしくて、
とても晴れやかな気持ちになった」
と話しました。

大桑城の麓に集う

東海シクロクロス開催

11月14日、おおが城山公園で、東海シクロクロス2021-2022年シリーズが行われました。

シクロクロスとは、オフロードで行われる自転車競技で、整備されていない周回コースで行われます。また、コースには障害物が設置されることが特徴で、それをよけるためには自転車を担いで越えるポイントもあります。

当日は快晴のもと、子どもからお年寄りまで多くの参加者が集まり、会場は熱気に包まれました。



よっこそ Sveiki 大桑小へ リトアニア留学生と交流会



11月15日、山県市ホストファミリーの会が、岐阜県とゆかりの深いリトアニアの留学生を市内に招き、子どもたちに異文化に対する理解を深めてもらうため、大桑小学校を訪問しました。

大桑小学校では、児童が戦国時代に大桑の地であった土岐氏と斎藤道三との戦いを劇にし、留学生に大桑を紹介しました。また、留学生との交流会では、リトアニアの文化やあいさつなどを教わりました。

児童は「初めてリトアニアの人に会えて、いろんな話が聞けてよかったです」と話しました。

山県市商工会が全国2位！ 21世紀商工会グランプリで快挙！

11月17日、市役所公室で、山県市商工会が21世紀商工会グランプリで全国2位となる準グランプリを受賞したことを受け、市長を表敬訪問しました。

21世紀商工会グランプリは、会員増強や巡回訪問などで顕著な実績をあげている商工会を顕彰することを目的に行われています。山県市商工会は市と連携して、全国でも画期的な補助金事業を創出したことが評価されました。

宇野会長は「商工業者の発展なくして市の発展はない。これからも市内事業者さまの力になりたい」と話しました。



まっすぐな思いをつづる 家族のきずなエッセイ表彰式



11月19日、高富中央公民館で岐阜やまがたエッセイ募集委員会主催の第9回家族のきずなエッセイの表彰式が行われました。

エッセイは、市内小学校4～6年生を対象に、過去最多の492点の応募があり、その中から、優秀賞9点、入選19点が選ばれました。

優秀賞の受賞者は次のとおりです。(敬称略)

根木葉月(高富小⑤)、中村有那(高富小④)、本内結理(高富小⑥)、林千加(美山小⑥)、井俣果音(桜尾小⑤)、小森翔太(高富小⑤)、江島春太(高富小⑥)、夏目梨央(富岡小⑥)、谷村咲人(梅原小⑥)

二十歳から一歩前進 令和2年度成人式

11月21日、美山中央公民館で昨年度延期していた令和2年度成人式を行い、会場とオンラインで計210人が参加しました。

式典は、新型コロナウイルス感染症対策のため午前と午後に分けて開催しました。午前の部は実行委員の郷翔太さんと外山瑞樹さんが、午後の部は藤田尊斗さんと吉田京可さんが新成人を代表して二十歳の誓いを力強く述べました。式典後の歓談の時間は中止となりましたが、新成人は級友や恩師との再会をマスク越しに笑顔で喜びました。



写真で山県の魅力を発信 インスタタミート開催



11月23日、円原川や伊自良湖などで、山県市の魅力を広く発信することを目的に、SNS界で主に風景写真のインフルエンサーと呼ばれる人たちを招き、フォトモニターングツアーインスタミートを開催しました。

このツアーは、写真を活用した魅力発信や誘客とともに、地域経済を活性化させるための体制づくりの一環として行われました。写真を通して市内の写真映える観光スポットなどをどのように観光資源に育てていくか今後も活発な意見交換が行われていきます。

農林水産大臣から 服部兼好さんに感謝状贈呈



10月18日、農林水産統計調査に長年にわたり協力された服部兼好さんに、農林水産大臣から感謝状が贈呈されました。

この感謝状の贈呈は、統計の日の関連行事として全国規模で行われたものです。

服部さんは農業経営にかかわる収支を記帳する農業経営統計調査に5年間協力されました。

この調査結果は、現在の農業経営の実態を把握し、農林水産行政資料として幅広く活用されています。

岐阜聖徳学園大学と連携 協力に関する協定を更新



11月9日、市役所で岐阜聖徳学園大学と教育委員会が、連携協力に関する協定を更新しました。

この協定は平成22年1月から継続して結ばれています。これまでに、学生たちが市内小中学校で教育実習やインターンシップを行ってきました。

今後も今まで行ってきた事業を継続するとともに、山県市の教育がより魅力的なものになるよう相互に協力していきます。

田上隆さんと後藤正則さんが 防犯功労者表彰を受賞



11月10日、山県市自治会連合会会長で山県市防犯協会副会長の田上隆さんが岐阜県防犯協会防犯功労者表彰を、山県市接客業防犯組合連合会会長の後藤正則さんが山県市防犯協会防犯功労者表彰を受賞されました。

田上さんは、長年にわたる自治会長としての地域活動や高富校区見守り隊での活動などに尽力されたことが、また後藤さんは、市内接客業界の中心となって暴力追放活動や風俗環境浄化活動に尽力されたことなどが認められ、今回の受賞となりました。

高富小の学校運営協議会 岐阜県地域子ども支援賞受賞



11月24日、市役所公室で、高富小学校学校運営協議会が岐阜県地域子ども支援賞を受賞したことを受け、市長を表彰訪問しました。

この表彰は、子どもたちの活動を支え、地域の皆さんから高い評価を得ている個人および団体をたたえるためのものです。このたび、同会が週5回行っている学校内の消毒活動が認められ、受賞につながりました。

市長は「コロナ禍において非常に重要な役割を果たしていただき、大変ありがたい」と話しました。

働きやすい職場環境・居心地の良い 家庭環境づくり応援セミナー開催



11月15日、オンラインで、女性活躍推進関連事業の一環として、働きやすい職場環境・居心地の良い家庭環境づくり応援セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、男性管理職と女性社員を対象に、それぞれの立場の考えを知り、よりよい職場を目指すことを目的として行いました。セミナーでは、講師から感情のコントロールの仕方や部下が働きやすい職場についてなどの話があり、その後参加者同士で積極的な意見交換が行われました。

岐阜北ライオンズクラブに 感謝状贈呈



11月11日、市役所公室で、岐阜北ライオンズクラブから市に対して、聴力検査用器具のオージオメーター3台の寄贈があり、感謝状を贈呈しました。

コロナ禍で活動が制限される中でも、奉仕活動を継続したいとの思いから寄贈を受けました。

市長は「精巧な検査用器具を寄贈いただき心から感謝申し上げます。世の中のために活動されている姿を子どもたちに伝えていきたい」と話しました。

ぎふ農業協同組合に 感謝状贈呈



11月30日、市役所公室で、ぎふ農業協同組合から防犯ブザー170個の寄贈があり感謝状を贈呈しました。

防犯ブザーは、子どもたちの安全・安心に貢献したいとの思いから、市内小学校の令和4年度新入学児童に贈られます。

市長は「防犯ブザーの装着は犯罪抑止につながる。寄贈いただき大変ありがたい」と感謝を伝えました。

危険業務従事者叙勲で 渡邊晴臣さんが瑞宝単光章受章



元山県市消防司令長渡邊晴臣さんが、危険業務従事者叙勲により瑞宝単光章を受章され、11月30日に市長から受章伝達を行いました。

渡邊さんは、昭和56年4月に入職し、平成25年3月に退職されるまで、消防長や予防課長などを歴任されました。在職中は、災害現場や救助現場において、豊富な経験と高度な技術を生かし、消火活動や救助業務に尽力されたとともに、卓越した指導力により消防人材の育成指導に貢献されました。

歯と口から健康づくり 桜尾小が文部科学大臣賞受賞



11月25日、市役所公室で、桜尾小学校が第60回全日本学校歯科保健優良校表彰において文部科学大臣賞を受賞したことを受け、市長を表敬訪問しました。

この表彰は、歯・口の健康づくりの理念に基づいた活動を推進し、全国的に模範となる成果を上げた学校を表彰するものです。このたびフッ化物洗口や、家庭や地域と連携を図った歯みがき指導などが認められ、受賞につながりました。